

I 当初予算の基本的な考え方

県教委では、本県教育を取り巻く社会状況の変化や子どもたちの状況、国の動向等を踏まえ、令和5年10月に策定した「山口県教育振興基本計画」（以下、「計画」）に基づき、本県の教育課題に的確に対応した諸施策を総合的・計画的に推進しています。

このような中、県の令和8年度当初予算は、人口減少が進む中であっても、本県のさらなる飛躍をめざし、「成長と安心の好循環」に向けた新たな挑戦を速やかにスタートすることとされています。

こうした県の予算編成の基本的な考え方のもと、県教委においては、計画に基づく取組の成果を最大化していく予算と位置付け、諸施策をさらに加速するとともに、喫緊の教育課題等の克服や教育環境のさらなる充実に向けて、特に重点的に取り組むべき5つの施策を下表のとおり掲げ、積極果敢に挑戦してまいります。

まず、少子化の進行等により地域の担い手不足が深刻化する中、郷土に誇りと愛着をもち、主体的に地域づくりに参画しようとする児童生徒を育成することが重要であることから、「やまぐちPRIDE」を合言葉に、キャリア教育と地域連携教育を一体的に推進し、地域との関わりの中で自己の在り方や生き方を考えさせる教育活動に取り組みます。

また、急速な技術革新に対応したICTのさらなる活用に積極的に取り組むとともに、国が進める高校教育改革に呼応した県立高等学校の特色化・魅力化のさらなる推進や、依然として厳しい状況にある、いじめ・不登校への対応、質の高い教育環境整備にも的確に対応してまいります。

引き続き、学校・家庭・地域をはじめ、関係機関とも緊密に連携し、教育目標である「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」の実現に向けて、本県教育の一層の充実・発展に取り組んでまいります。

令和8年度重点施策

- 1 「やまぐちPRIDE」の醸成
- 2 県立高校の特色化・魅力化の推進
- 3 いじめ・不登校等対策の一層の強化
- 4 「やまぐちスマートスクール構想2.0」の推進
- 5 質の高い教育環境づくりの推進